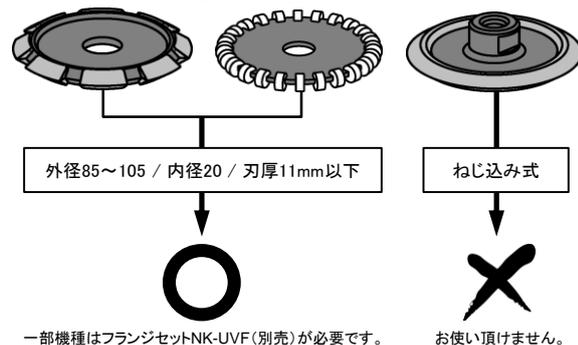




## 警告

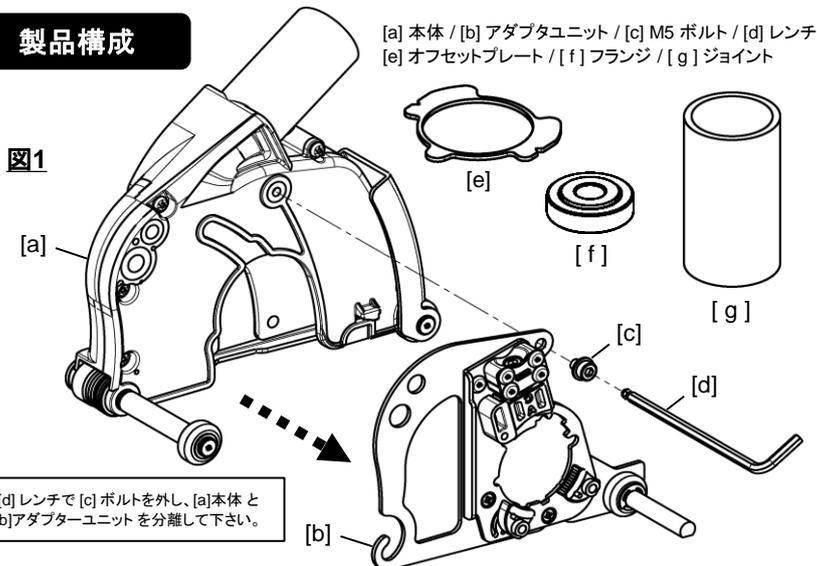
- ・本製品は、石材系材料切断用集塵カバーです。鉄やその他材料の切断には使用しないで下さい。
- ・本製品は、コンクリート粉塵対応型集塵機と併用して下さい。(家庭用掃除機はご使用になれません)
- ・本製品は、下表に記載のダイヤモンドカッターのみ使用可能です。切断砥石やチップソーは使用しないで下さい。
- ・本製品は、安全カバーではありません。
- ・怪我の原因となりますので、本製品に損傷、ひび、変形等があった場合には使用しないで下さい。
- ・作業時には必ず、保護眼鏡、防塵マスク、安全靴、耳栓、その他安全装備を着用して下さい。
- ・本製品に、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させないで下さい。
- ・加工する材料は、切断作業前に確実に固定して下さい。
- ・お使いになるグラインダーの回転数よりも許容回転数が低い刃物は使用できません。
- ・本製品で使用可能なU・V溝カッターは内径20mm/刃厚11mm以下です。  
※ねじ込み式のU・V溝カッターはお使いになれません。  
※一部機種はNK-UVFが必要です。詳しくは下表内のQRコードを読み込んでご確認ください。

## U・V溝カッターへの対応について



型名	NK-125MA	対応機種および対応切断刃は下記QRコードを読み込んでご確認ください。  
対応切断刃	105~125mm ダイヤモンドカッター / 85~105mm U・V溝カッター ※上記参照	
対応被削材	石材、コンクリート、ブロック、タイル等	
最大切込深さ	25mm (125mmカッター使用時) / 15mm (105mmカッター使用時)	
製品質量	約690g	
対応グラインダー (2022年4月時点の 各社カタログ 掲載機種)	マキタ / HiKOKI / BOSCH / 京セラ(リョービ) / パナソニック 100-125mmディスクグラインダー ・X-LOCK機種(マキタ / BOSCH) は使用出来ません。 ・BOSCHのレバー付125mmグラインダ(GWS12-125CI など)は、別売のフランジセットNKFS-125MA(B) が必要です。 ・上記以外にも使用出来ない場合があります。	

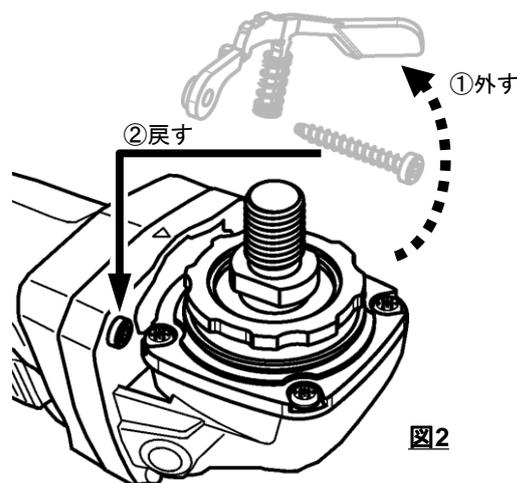
## 製品構成



## 準備

### BOSCH GWS18V-7のみ

レバーを外し、レバーを固定していたネジを戻してください。(図2)



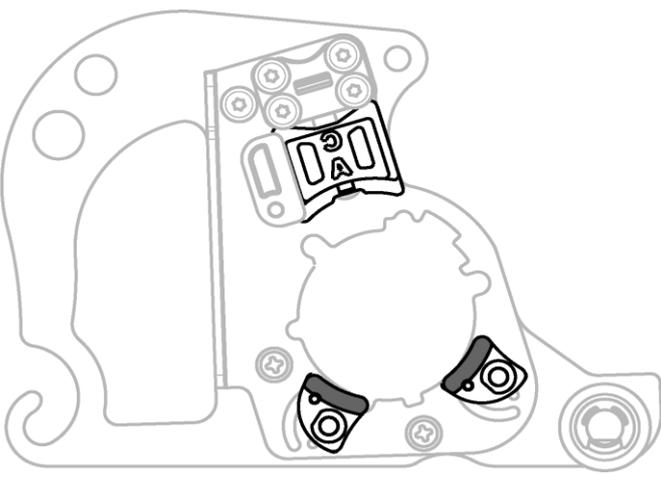
## 装着方法

1. [b] アダプターユニットの状態を確認してください。(図3、図4)

### ・右記以外のグラインダー

出荷状態(下図)のままお使い頂けます。

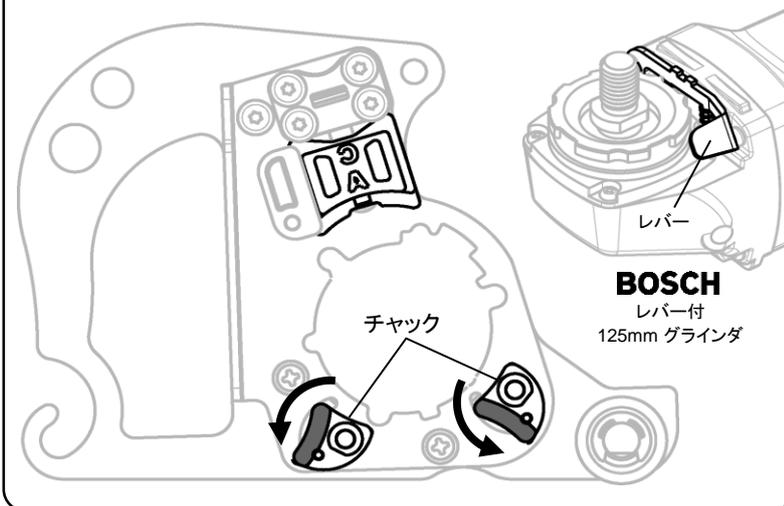
図3



### ・BOSCH のレバー付 125mm グラインダー

(GWS18V-104H/10SC4/15C4H/15SC4H シリーズおよび GWS12-125CI など)  
→下方2か所のチャックをカチッと音がするまで、反時計周りに回してください。

図4



2. グラインダ標準付属のガードを取り外してください。(図5)
3. [b] アダプタユニットを、グラインダのギヤケースの上に置いて下さい。(図6)  
※マキタの一部機種は、[b]とギヤケースの間に、[e]オフセットプレートを含んで下さい。(図7)

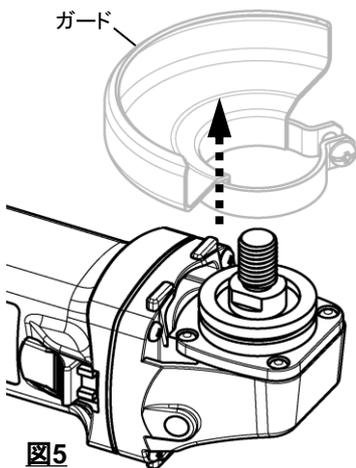


図5

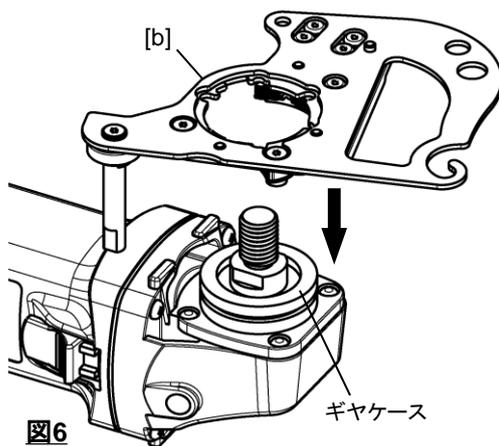


図6

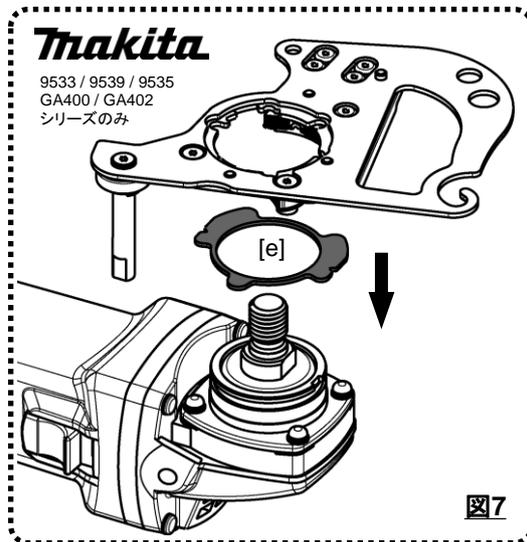


図7

4. [b] アダプタユニットを、上から押さえながら下方のへこみ部を押して、グラインダに突き当たるまで回して下さい。(図8)  
※マキタの凸付ギヤケース機種は、凸部を[b]アダプタユニットの形状に合わせて下さい。(図9)

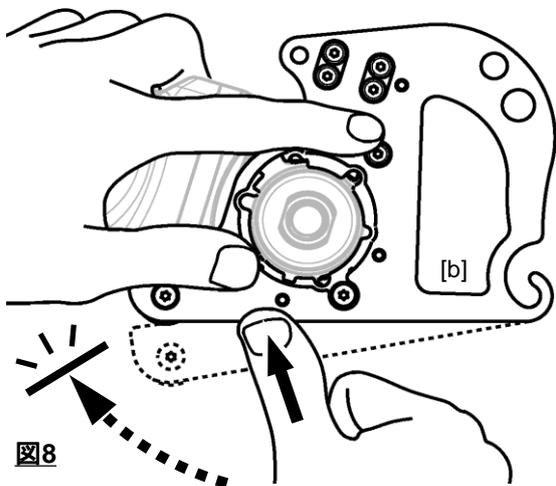


図8

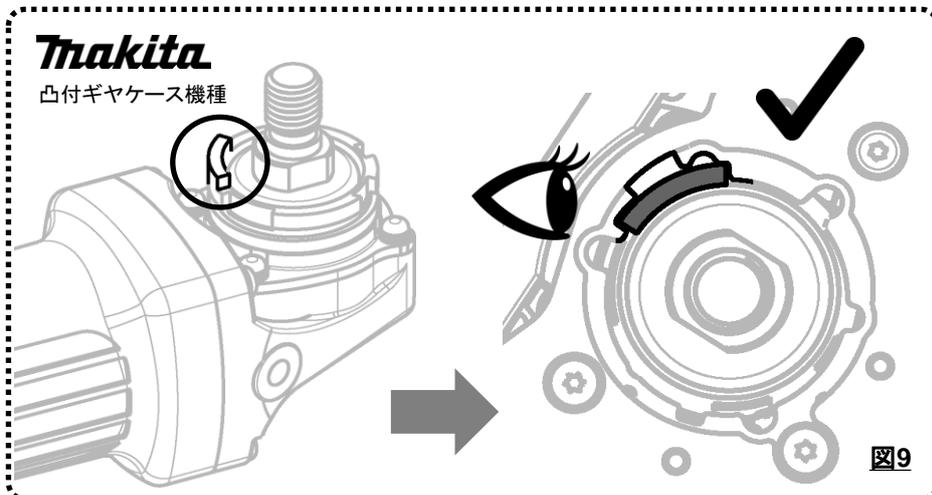


図9

5. [b] アダプタユニットを上から押さえつけながら、[d] レンチで [b] アダプタユニット上方のボルトを確実に締結して下さい。(図10)

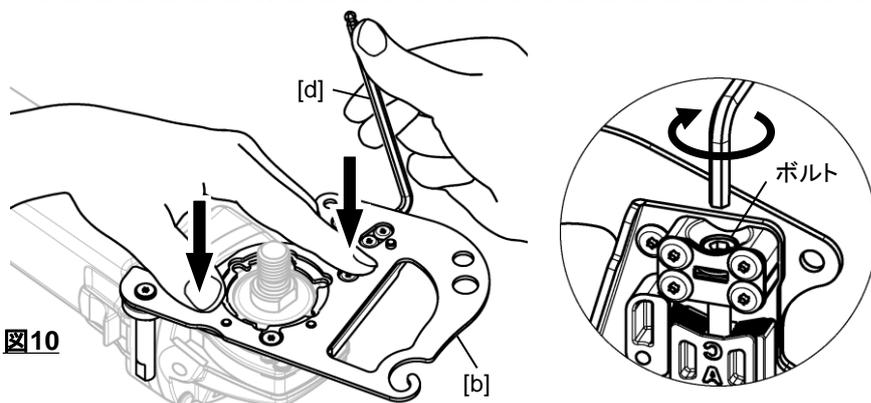
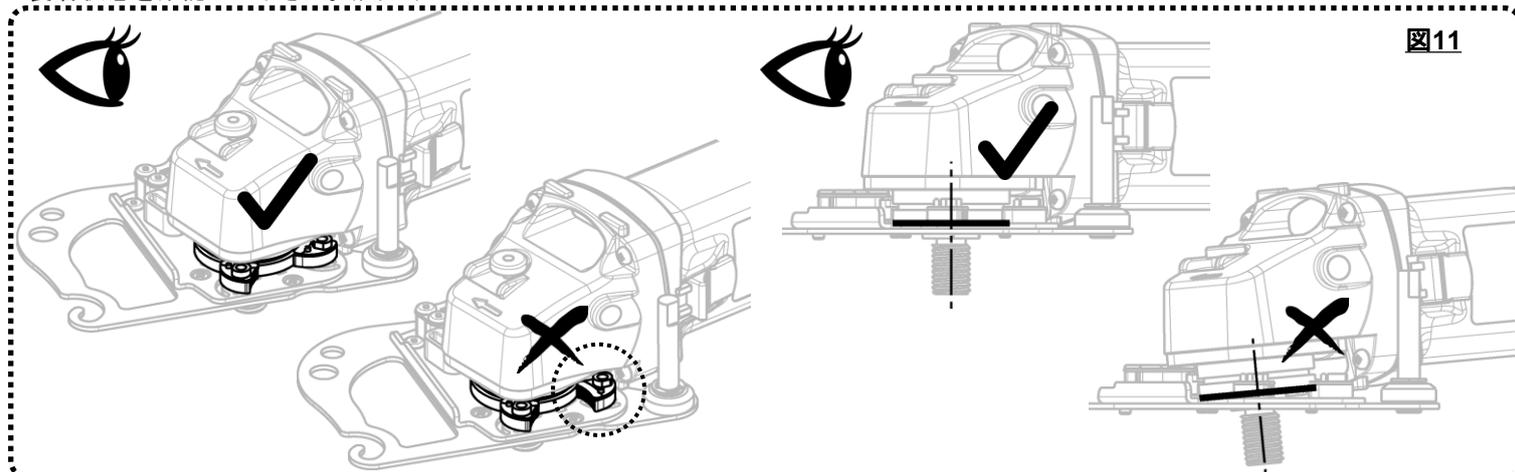
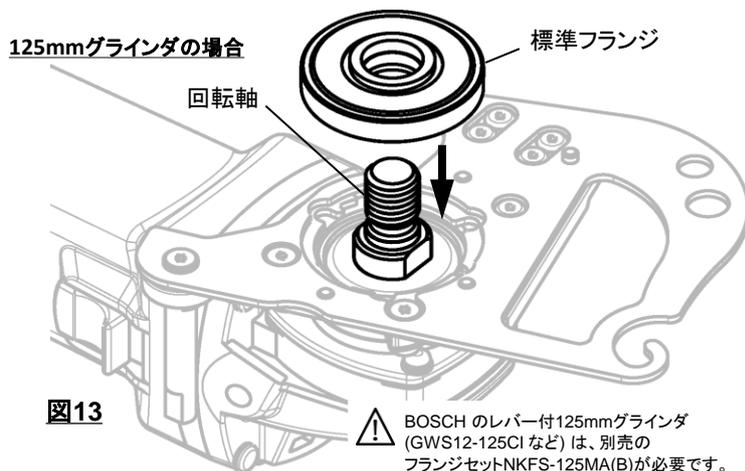
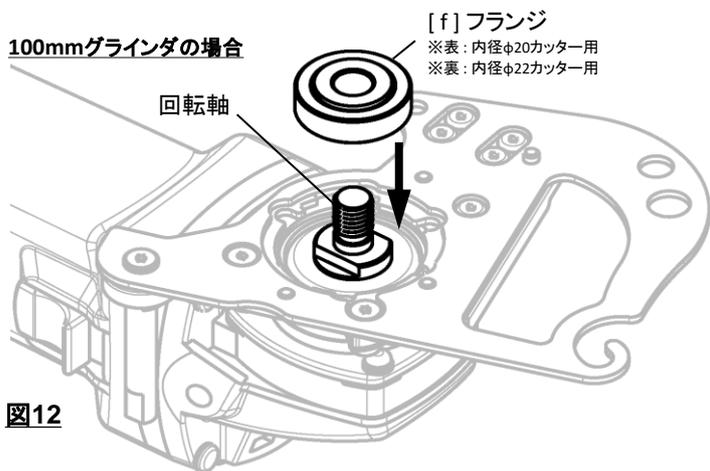


図10

6. グラインダと [b] アダプタユニットの装着状態を確認して下さい。(図11)

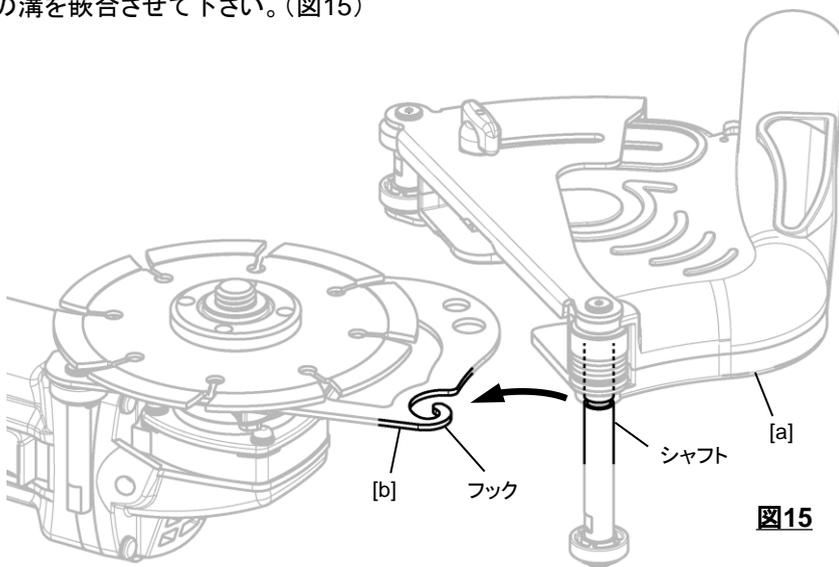
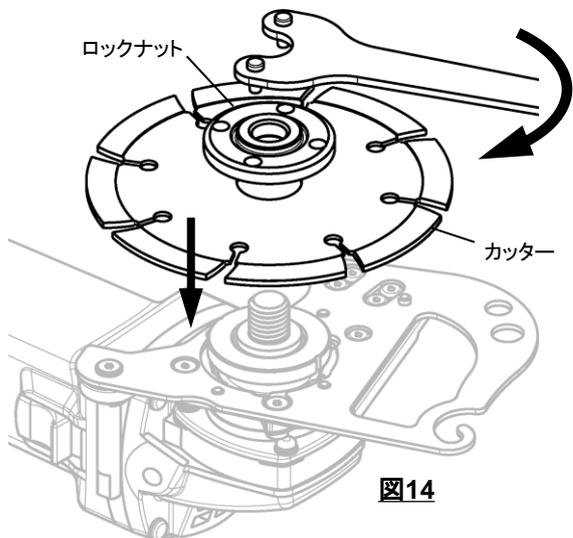


7. 100mmグラインダの場合は本製品に付属の[f]フランジを、125mmグラインダの場合はグラインダに付属の標準フランジを、回転軸にセットして下さい。(図12、図13)

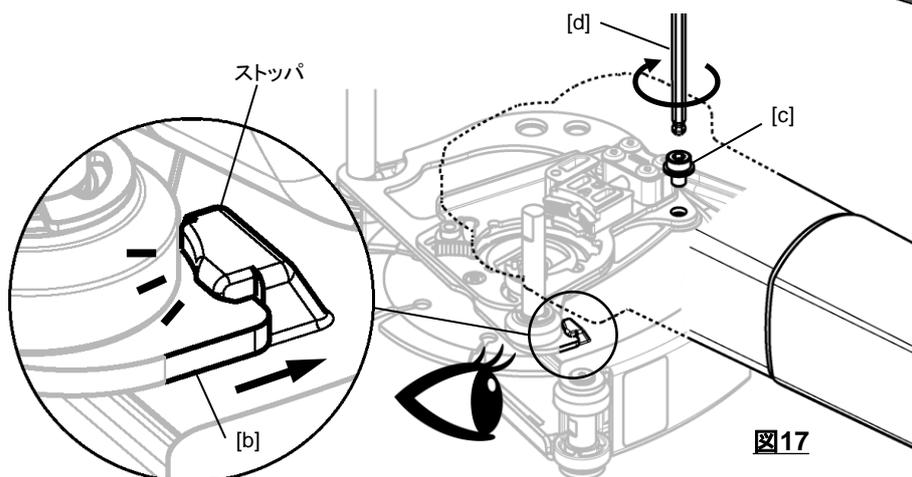
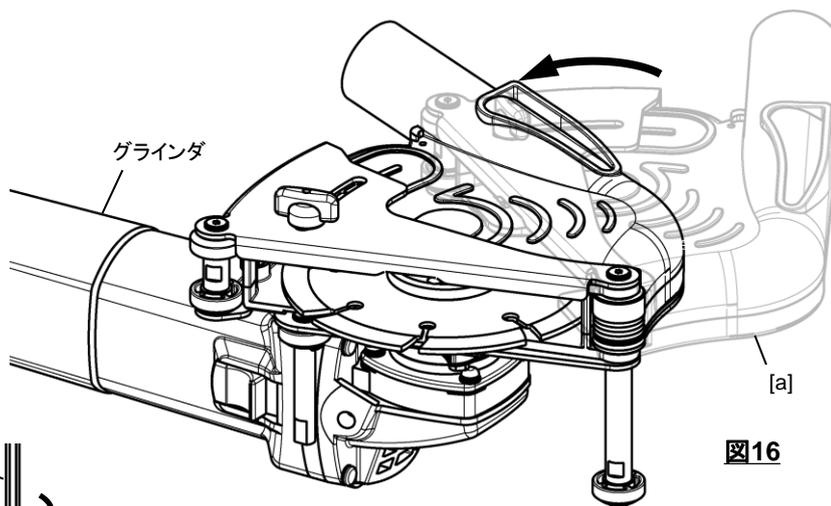


8. フランジの上にカッターをセットし、グラインダに付属のロックナットを締結して下さい。(図14)

9. [b] アダプタユニット先端のフックと、[a] 本体のシャフトの溝を嵌合させて下さい。(図15)



10. シャフトを軸として、[a] 本体をグラインダ側に回動して下さい。(図16)



11. [b] アダプタユニット後端部が背面のストッパに掛かっていることを確認の上、[d] レンチを用い、[c] M5ボルトを [a] 本体のネジ穴へ締結して下さい。(図17)

12. [a] 本体を保持して、集塵機のホースをダクトに接続します。必要に応じ、[g] ジョイントを併用してください。(図18)

この時、装着状態に悪影響を与える可能性があるため、グラインダを保持しないでください。(図19)

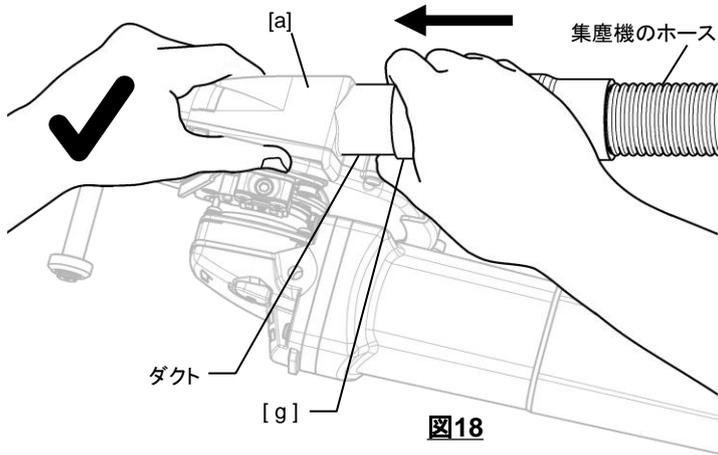
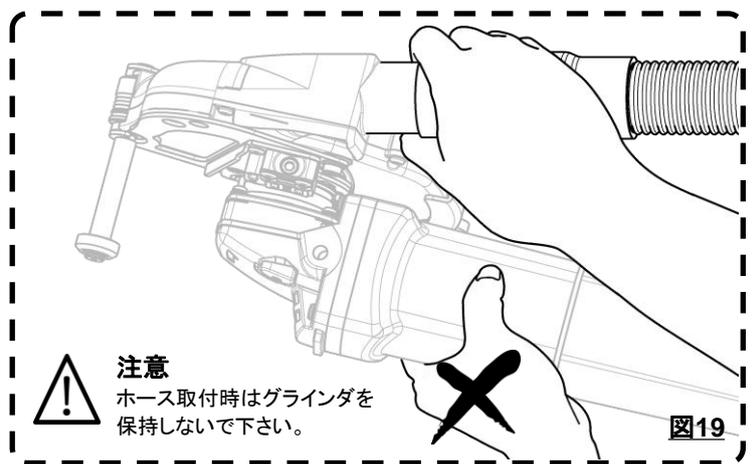


図18



**注意**  
ホース取付時はグラインダを保持しないで下さい。

図19

13. [a] 本体の、前方ローラー上のガイドリングをカッターの進行方向位置に合わせれば、切断位置の目安になります。(図20)

14. グラインダ付属のハンドルをお使いの場合は、[a] 本体背面のM8 / M10 穴に装着出来ます。(図21)

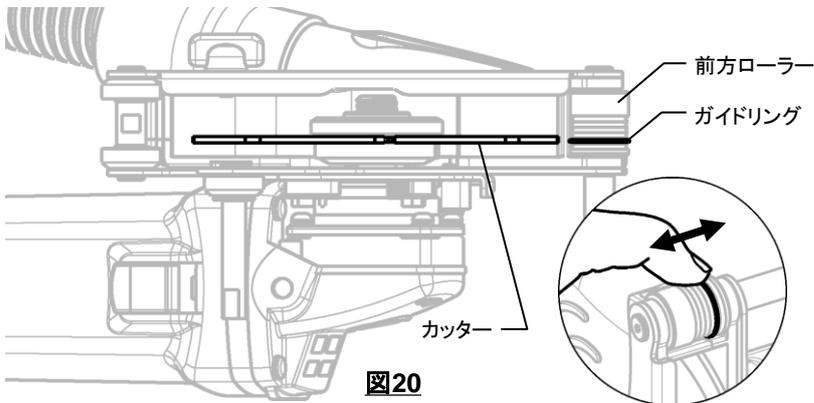


図20

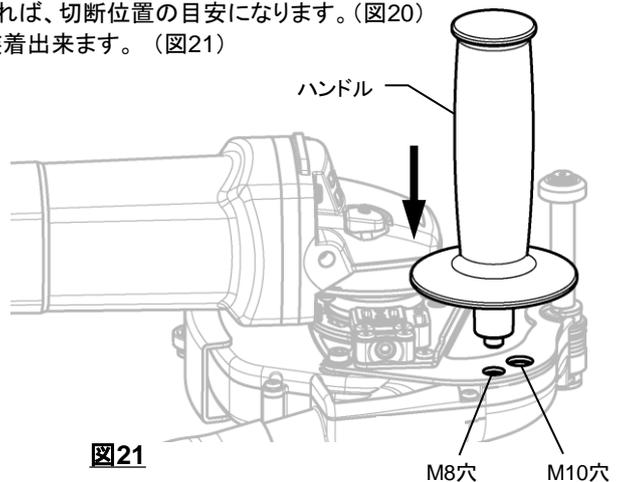


図21

## 切断方法

1. 正面のノブボルトを緩め、ベースを上下移動させて切込深さを調整して下さい。ベースの上端線を目盛線に合わせることで、切込深さをおおまかにラベル目盛の数値に調整することが出来ます。(図22)
2. 集塵機を起動し、本体をしっかり保持した状態でグラインダを起動して下さい。まず前方ローラーを被削材上に接地させてからカッターを入れ、グラインダをゆっくりと前へ押し進めて下さい。(図23)

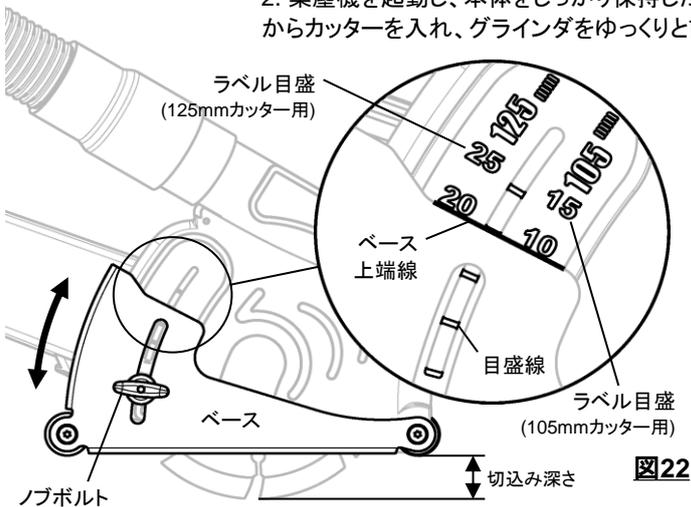


図22

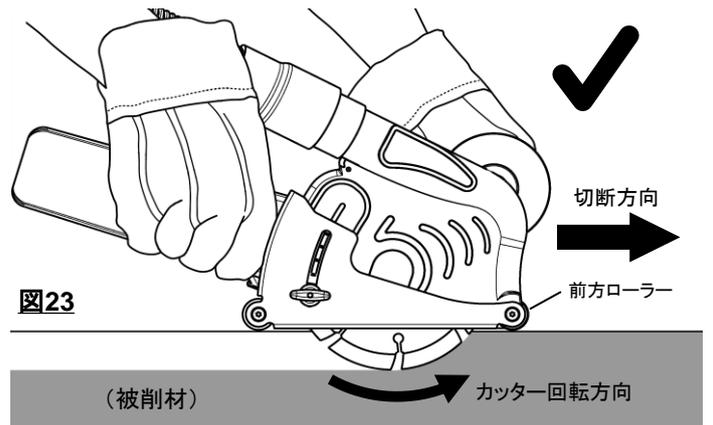


図23

## 注意

1. 粉塵が漏れますので、切断中にグラインダを持ち上げないで下さい。(図24)
2. 粉塵が漏れますので、グラインダを後方に引いて切断を行わないで下さい。(図25)

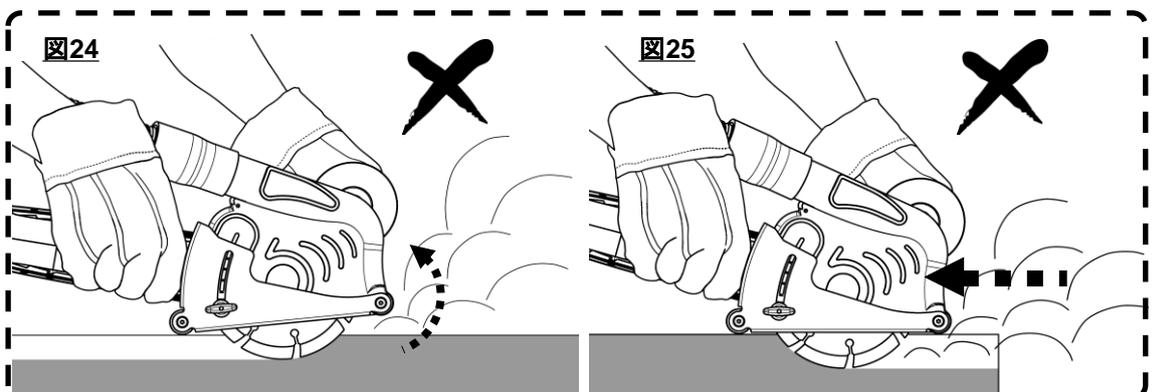


図24

図25